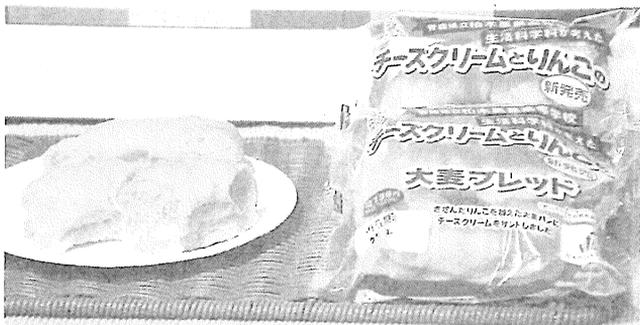


弘大と柏農生が開発連携 食物繊維取れる大麦パン



31日から県内のローソンで販売される「チーズクリームとりんごの大麦ブレッド」

県内ローソン きょうから販売

ローソンは31日から、同社と弘前大学の研究開発プ

ロジェクト「弘前大学COI（センター・オブ・イノベーション）」、平川市の

柏木農業高校の生徒が連携して開発した食物繊維が取れるパン「チーズクリーム

とりんごの大麦ブレッド」（税込み150円）を県内270店舗で販売する。関係者が30日、県庁を訪れ、三村申吾知事にお披露目した。

刻んだ県産りんごを加えたリング状の大麦パンに塩味のあるチーズクリームをブレンド。1日20℃取るのが好ましいとされる食物繊維が1食当たり12g含まれているのが特長という。同校生活科学科の生徒がレシピを考案し、工藤パン（青森市）が商品を製造した。

弘前大COI拠点長・研究統括で大学院医学研究科の中路重之特任教授は「短命県返上や地域おこしにもつながる」、試食した三村知事は「さっぱり感とうまみがある。食べて健康が一番だと思う」と語った。

（兼平昌寛）